

平成30年度 東京歯科衛生専門学校 学校評価書

※ 自己評価の10項目と基準点数

1)教育理念・目標、2)学校運営、3)教育活動、4)学修成果、5)学生支援、
6)教育環境、7)学生の受け入れ募集、8)財務、9)法令等の遵守、10)社会貢献・地域

<適切・・・4点、 ほぼ適切・・・3点、 やや不適切・・・2点、 不適切・・・1点>

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員の指導及び助言
		評価 得点	成果と課題(「学校自己評価報告書」の略記)	
(1) 教育 理念 ・ 目 標	① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	【成果と課題】 ・入学時オリエンテーション、教授要綱、授業開始時、入学ガイダンス等様々な形で周知されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・理念や目的は明確に示されており、「愛の精神」「明眸皓齒」を掲げているのも分かりやすくとても良い。 ・高齢化社会に向けては他職種(看護師、栄養士等)に歯科衛生士らしい助言を行えることが大事。 ・学生が高齢者と関わる機会を増やすことが望ましい。 ・実習医院等での在宅訪問への見学機会の増加。 ・地域のボランティア情報などを周知する。
	② 学校の理念・目的・育成人材像をもとに特色ある職業教育が行われているか	4	・新法人の東京未来化構想の中心的役割を担い、DHの価値を高めていく。	
	③ 社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	【今後の改善方策】 ・専任教員の授業において、本校の学校理念やめざす育成人材像等について、今後も事あるごとに周知し、理解できるように伝えていく必要がある。	
	④ 学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生に周知されているか	4	・進行する超高齢社会等の要請に対応できる育成の更なる強化が求められる。	

(2) 学校運営	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集情報のシステム化。 ・業務効率化を図るシステムについては、不足している部分が残る。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人が変更をきっかけに、規則類は整備されることが見込まれる。 ・新法人の経理システム導入により、減価償却費用計算の合理化が見込まれる。 ・学生掲示板の電子化等、学生に対し親切でわかりやすい管理、運営の検討が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーが居ることを、もっと周知しても良いのではないかと。 ・長期休み中の学習補助や、国家試験後から就職するまでの間に技術の見直しなどをしてあげられると良いのではないかと。 ・寺子屋を行っているので、夏休み中も活用して、勉強会を行う。
	② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4		
	③ 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、又、有効に機能しているか	4		
	④ 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4		
	⑤ 教務・事務等の組織整備など意思決定システム(会議等)が制度化されているか	4		
	⑥ 教育活動等に関する情報公開が適切にされているか	3		
	⑦ 業務効率化を図るシステム化がなされているか	3		

(3) 教育活動	①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学する学生層を踏まえ、カリキュラムの見直しが行われ、2019年度より導入される。 ・教員の知識・技術等学術的なレベルの人員確保はできていると考えるが、人材育成(人として社会に送り出すことの難しさ)の部分の要件を備えた教員の確保の難しさがある。 ・多様化している学生の個々に指導ができる教員の資質向上のための取り組みが必要。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラムの適切な実施に向けての検討。 ・知識、技術面の研修だけでなく、心理的な側面も支援できる研修の確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生は歯科衛生士としての意識がとて高いので、今後も技術だけでなく精神面の強化もして欲しい。 ・多くの取り組みへの振り返りや報告内容、スクールカウンセラーの稼働率等の周知をお願いしたい。
	②	教育理念を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4		
	③	カリキュラムは体系的に編成されているか	4		
	④	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4		
	⑤	人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	4		
	⑥	関連分野における業界等の連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4		
	⑦	関連分野における最先端知識・技術等を習得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが行われているか	4		
	⑧	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3		

(4) 学修成果	① 就職率の向上が図られているか	4	【成果と課題】 ・独自の国家試験対策や就職ガイダンスによる高い合格率や就職状況について評価できる。	・1年生から国家試験への意識付けをしているのは良いと思う。
	② 資格取得率の向上が図られているか	4	・今年度取り組みをした退学者防止の対策により、昨年度、一昨年度と比較して改善を図ることができたが、更なる退学率の低減の取り組みが必要である。	・歯科衛生士が不足している事もあり、復職支援を同窓会等を通して呼びかけていければいいのではないかと。
	③ 退学率の低減が図られているか	4	・卒業生の動向が見えにくい。	・就職については臨床だけでなく、歯科メーカー等への就職枠も検討できると良い。
	④ 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3	【今後の改善方策】 ・退学者が発生しない丁寧な学生指導、寺子屋の活動に重点を置く。	・卒業生の把握は同窓会でも難しく、引越しをすると追跡ができなくなってしまう。
	⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	3	・モチベーションを維持し目指す目標を明確にするための方策として、卒業生の講話を増やしたい。	・卒業生のキャリアを在校生にフィードバックしていきたい。
			・資格取得100%を達成するために、早い段階での国家試験対策を実施する。 ・精神的負担による退学者を防ぐため、昨年より導入したスクールカウンセラーによるメンタルケアをより充実させる。 ・同窓会との連携を強め、卒業生への追跡調査が必要である。	

(5) 学生 支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	【成果と課題】 ・学校カウンセラーの関与により、学校生活を安定的に送ることが可能となり、教員への支援体制のフォロー強化にも繋がった。 ・年2回の成績表の保護者への送付に伴い、保護者との情報の共有にも努めている。 ・同窓会による勉強会の支援体制はとっているが、頻度的には少ない。 ・就職指導に専門のキャリアカウンセラーがいると良い。 【今後の改善方策】 ・学生の状況把握に努め、教務間で共有し支援に努める。 ・学生が相談しやすい環境を整える。 ・資格取得100%を達成するために、早い段階での国家試験対策を実施する。 ・できれば専門のキャリアカウンセラーの配置。内部人材をキャリアカウンセラーとして活用することも考える。 ・卒業生への校内活用をPRする。(Web等使用して)	・卒業生の施設活用はグループでの勉強会の形で施設が活用できるのではないか。 ・卒業生用の簡易ポータルサイト等があると色々と情報配信ができるのではないか。
	② 学生相談に関する体制は整備されているか	4		
	③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4		
	④ 学生への生活環境への支援は行われているか	4		
	⑤ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4		
	⑥ 保護者と適切に連携しているか	4		
	⑦ 卒業生への支援体制はあるか	3		
	⑧ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3		

(6) 教育環境	①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外研修等の整備はないが、現状としては良い体制になっていると思う。 ・学生、保護者に向け防災マニュアルブックを配布、警視庁による防災講習の実施。 ・ホールのプロジェクターの改善。 ・学生カフェの充実が課題。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新しい機器の導入をし、学生が現場に出たときに抵抗なく扱えるようにする。 ・社会的ニーズに合わせた実習先の新規開拓に努める。 ・カフェの学生使用空間の拡充。 ・カフェ棟のリフォームを行い寺子屋ルームの新設を計画。 	<p>・説明を受けて、自己評価は適切である。</p>
	②	学内外での実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制を整備しているか	4		
	③	防災に対する体制は整備されているか	4		

(7) 学生 の 受 入 れ 募 集	①	学生募集活動は、適切に行われているか	4	【成果と課題】 ・国家試験結果、就職結果を伝えるだけでなく、志願者に将来像を抱かせ明確な目標を持たせるように取り組んでいる。	・ただ単に入学を勧めるだけでなく、歯科衛生士の周知も継続していく。
	②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	・卒業生の講話も取り入れて活動を実施しており、好評である。 ・募集要項内容も適切である。	
	③	学納金は妥当なものとなっているか	4	【今後の改善方策】 ・歯科大学の系列校になった事を内外にアピールし、他校との差別化を図る。	
				・指定校推薦での入学者を増やす。 ・教育力の向上を図り学校評価をあげ、第一希望としてもらえる学校にすることで、自ずと入学者のレベルが上がると考えられる為、教職員での意識向上に努める。	
(8) 財 務	①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	【成果と課題】 ・減価償却引当金が積めていない為、ユニットの入れ替えなど、必要な設備を整備しきれない。	・昨年度の状況や今後の課題等説明を受けて、自己評価の通り改善していければ良いと思う。
	②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	・財政基盤を安定したものにするには、入学者の安定確保が重要。	
	③	財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	【今後の改善方策】 ・定員の充足と退学防止に努め、常に220名以上の在籍を確保する。 ・学校評価の公開で、財務情報の公開を図られる。	

(9) 法令等の遵守	①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	【成果と課題】 ・専修学校や養成所のガイドラインをきちんと遵守して運営しているので、課題は学校評価と情報公開。 【今後の改善方策】 ・これまで以上に学校としてのコンプライアンス体制の強化、教職員に対しての法令遵守をより厳格化する。 ・学校自己評価・学校関係者評価を早期に公開する。	・試験結果や学生への伝達事項が今後の課題となってくるかもしれない。
	②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4		
	③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4		
	④	自己評価結果を公開しているか	2		
(10) 社会貢献・地域貢献	①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	【成果と課題】 ・夏季休暇中に「キッズイベント」、3月に「桜まつり」として地域の方に校庭開放・歓談を設ける企画等を実施した。 ・自治会のお祭りに駐車場を貸したり、電源を提供する等の貢献はしているが、一緒にイベントに参加する等の交流は少ない。 【今後の改善方策】 ・地域に根付いた学校としての認知度を図るためにも、積極的な情報発信をし、地域の人たちを巻き込んだ企画を更に増やしていく。 ・歯科医療関連他の各種ボランティアへの参加奨励。	・地域貢献は学生の防犯対策にもなるので良いのではないかと。 ・自治会から和を広げていけば、さらに入学者が増えていくのではないかとと思う。
	②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3		
	③	財務について会計監査が適正におこなわれているか	3		